



- 介護保険制度が改正されました …… 2面
- 情報公開制度・個人情報保護制度の仕組みと運用状況を紹介… 4・5面
- 市からのお知らせ …… 11面から
- 三鷹の森ジブリ美術館新企画展示 …… 12面
- ご注意ください！
集中豪雨が起きやすい季節です …… 12面

7月8日(水)から販売開始 完売次第終了

お得な10%のプレミアム付き

販売総額は過去最高！ 9億9千万円(9万冊)

使える期間も過去最長！ 12月31日まで使えます

三鷹むらさき商品券を発売します

三鷹商工会では、市内の経済を活性化するため、約2年ぶりに10%のプレミアム付き市内共通商品券「三鷹むらさき商品券」を販売します。今回は、過去最大規模の9億9千万円分(9万冊)を発行し、市内の小売店や飲食店など約630店で、12月31日までの約半年にわたり利用できます。

この機会にぜひ、地元・三鷹で“賢く、お得に”買い物をお楽しみください。

☎三鷹商工会 ☎49-3111

三鷹むらさき商品券概要

市内の小売店、飲食店をはじめ、薬局、自転車・自動車の販売店、さらにタクシーや理容・美容院、医療機関など、多種多様なお店・用途で使えます。



	先行販売	一般販売
販売開始日	7月8日(水)	7月18日(土)
販売価格	1冊10,000円(額面1,000円券×11枚つづり)	
購入限度額	1世帯10,000円(1冊)	1人50,000円(5冊)
利用期間	7月8日(水)～12月31日(木)	

※商品券の額面に満たない場合はお釣りは出ません。
※「三鷹むらさき商品券」取扱店のポスターが掲示されている店舗で利用できます。
※同商品券は国が創設した「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用しています。

先行販売

市民の方が優先して購入できる先行販売を行います。「先行販売券付きパンフレット」(下記)を販売所にお持ちいただいた方に限り、1冊10,000円(11,000円分)まで購入できます。
※完売次第終了します。

販売期間 7月8日(水)～15日(水)



先行販売券付きパンフレットを必ずお持ちください！

今号の「広報みたか」と同時に各家庭に配付

商品券取扱店 約630店掲載

先行販売券付きパンフレットには、商品券の販売所案内図や商品券取扱店一覧(市内約630店)などを掲載しています。

販売所には「のぼり」を設置します！



先行販売の販売所・販売日時

場所	連絡先	日時
昭和信用金庫(三鷹支店)	47-3131	7月8日(水)～15日(水) (土・日曜日を除く)
西武信用金庫(三鷹支店)	47-3281	
多摩信用金庫(三鷹駅前支店)	47-7385	
多摩信用金庫(三鷹下連雀支店)	44-2121	
多摩信用金庫(武蔵境南口支店)	32-2221	
JA東京むさし市内6店舗	46-2149 (注1)	
市内郵便局19局	44-7256 (注1)	午前9時～午後5時 (三鷹郵便局は7時まで)
三鷹商工会	49-3111 (注2)	7月8日(水)～15日(水) 午前9時～午後5時 (11日(土)・12日(日)は午前10時から)
三鷹市公会堂さんさん館		7月11日(土)・12日(日) 午前10時～午後5時

(注1) 連絡先はJA東京むさし三鷹支店および三鷹郵便局です。他店(局)の連絡先、所在地などくわしくは、左記のパンフレットをご覧ください。
(注2) 連絡先は三鷹商工会です。

一般販売

一般販売では、1人当たり5冊50,000円(55,000円分)まで購入できます。
※先行販売で完売した場合は、一般販売は行いません。

販売期間 7月18日(土)・19日(日)(午前10時～午後3時)

販売場所 三鷹市公会堂 光のホールロビー

※「みたか商工まつり」での販売です。
※自家用車での来場はご遠慮ください。

7月18・19日に完売しなかった場合は、7月21日(火)～31日(金)に三鷹商工会(午前9時～午後5時)で販売します。

パソコン・スマートフォンなどで販売状況を確認できます

一般販売での販売状況を三鷹商工会ホームページでお知らせします。

◆アクセス方法

三鷹商工会ホームページ [HP](http://www.mitaka-s.jp/) <http://www.mitaka-s.jp/> / トップページ「三鷹むらさき商品券バナー」→「商品券販売状況」

市長コラム

文学散歩へのお誘い

三鷹市長 清原慶子

5月7日に、市内のみたか井心亭で、三鷹市と筑摩書房が共催する「第31回太宰治賞」の選考会が開かれました。今年は、全国から寄せられた1251篇もの応募作品から、厳正な選考の結果、都内在住の伊藤朱里いとう・あかりさんが書かれた『変わらざる喜び』という作品が選ばれ、6月17日には、太宰治賞の贈呈式・受賞パーティーも開催しました。

6月は、太宰治が生まれた月であり、また、亡くなられた月でもあります。そこで6月28日まで、「太宰治が生まれたまち・三鷹」を感じていただける「津島家寄託 太宰治資料展」を、三鷹市美術ギャラリーで開催しています(写真)。これは、平成26年8月に、太宰治の長女である津島園子さんをはじめご遺族が長年にわたって大切に保管されてきた「太宰治の三鷹時代」を中心とした遺品の寄託を受けて、そのうち50点余りを公開するものです。直筆の草稿、自画像などの絵画、戦後の食料配給関係資料などが含まれており、その知られざる素顔を垣間見ることが出来ます。

太宰治「ゆかりの場所」の一つで、太宰治がしばしば通った伊勢元酒店の跡地には、太宰治文学サロンの開設が計画されています。同サロンでは、太宰治のロゴマークがついたマグカップなど太宰治ゆかりのさまざまなグッズも販売されています。また、障がい者施設むらさき舎中原では、太宰治の「ゆかりの場所」の製造・販売をされています。今年5月には市内の重度障がい者施設わたしたちのいえかごめかごめが「太宰治人形焼」の製造・販売を始めてくださっています。

さて、平成2(1990)年に三鷹図書館が発行した「三鷹文学散歩」はすでに4刷となつていますが、「太宰治が生まれたまち・三鷹」を感じていただける文学散歩も人気です。三鷹市は文学者が多く暮らし、多くの作品を生み出してこられた「文学のまち」でもあります。アジサイの美しい6月は、雨傘も必要な季節でもあります。ぜひ、雨傘も必要なら「三鷹」を感じていただきながら、三鷹市内での文学散歩をお楽しみいただければ幸いです。



「津島家寄託 太宰治資料展」にて

市長のひとことコーナー

ケーブルテレビの広報番組「みる・みる・三鷹」では「市長のひとことコーナー」を放送しています(放送時間は12面参照)。